

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名:ノーザンライツ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		カームダウンが出来るようパーティションを使って区切る事もあります。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			適切に確保しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		入口にスロープ、トイレには手すりを設置し、バリアフリーに努めています。	玄関の段差にスロープを設置し、車イスでも利用しやすいようにします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		月に1回、ミーティングを行い積極的な意見交換の場を設けています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向けアンケートに加え、活動アンケートを実施しています。	保護者アンケートの結果を公表するとともに、スタッフ間での情報共有を図っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		弊社ホームページにてお示ししています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者委員とは月に1度以上連絡を取り合っています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修を希望するスタッフには、費用・シフトの調整を保障しています。	研修案内がある場合は、見える所に掲示し参加を促していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用者様、保護者様のニーズの把握に努めています。	保護者様の思いを定期的に確認し、利用者様のニーズとすり合わせていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		視覚支援のツールを用い、適応行動の状況を図っています。	同じツールを保護者様にも伝え、支援の情報共有をしています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		各スタッフの意見・見解を集約し、活動プログラムの立案を行っています。	スタッフからの幅広い活動内容の提案を促しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じプログラムであっても担当者を代える事で対応しています。	利用者様のニーズを聞き、形にできるような材料を揃えていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		学校休業日にしかできない内容を取り入れ、野外活動を中心した企画に取り組んでいます。	利用者様のニーズに合った平日のプログラムに取り組んでいきたいと思っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々のニーズに合わせて、個別・集団でのテーマを考え作成しています。	集団が苦手な利用者様にも、個を大切に活動で安心して利用できるようにします。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		特に野外活動では担当制にし、事前のシミュレーションができるようにしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		申し送りや特記事項を基に振り返りを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		連絡帳を記録し、特記事項にその日の様子を書き込み検証しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		毎月モニタリングを行い、それを基にミーティングし見直しの判断をしています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインに則り、独自の活動プログラムで支援しています。	地域交流の機会を増やしていけるよう検討しています。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後のためにも、別の相談支援員が参加する事も検討しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者様、学級担任との連携を密にし連携を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現状では保護者様を通じて行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育園・幼稚園との連携を図り、利用者様の情報共有や特性理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当者がいないため実施していません。	保護者様の同意を得た上で、情報共有するよう努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		個々の相談や連携を図り、研修の機会には積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		公園などで地域の児童と共に遊ぶ活動をしています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		管理者が参加するようにしています。	出席できない場合には、相談支援従業者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の送迎時、連絡帳を利用し情報共有を図っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		各家庭の状況を考慮し、対処法や助言を行っています。	懇親会などを通じ様々な意見を集約できるよう努めています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に必ず説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様からの相談には真摯に向き合い、職員間での共有を図りサポートするようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		懇親会を年3回の予定で開催しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		管理者が中心にしマニュアルに従い、組織全体で適切に対応するよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的にFacebookの投稿やノーザンライツ通信の発行にて発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		全職員に周知徹底しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的な情報伝達を図り、自ら選択できるようにしています。	保護者様との意思疎通の配慮を向上させていきたいと思っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	利用者様の特性上、地域住民との皆様を招待するような行事は行っていません。	地域行事に参加できるような利用者様を中心に行事への参加が出来るようにしていきたいとおもっています。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		保存版の緊急時マニュアルを各家庭にお渡しし、周知に努めています。	その他のマニュアルに関しましても随時周知して参ります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に行っています。	様々なリスクを想定した訓練をしていこうと思っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修を行うと共に、社外研修に参加しスタッフ間で情報共有しています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは契約時に丁寧に説明し、想定されるケースには個別支援計画の特記事項にも記載します。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者様を通じ管理栄養士が対応しています。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例が発生した際、ヒヤリハットの報告を行い、職員間で共有しています。	